

## 元岡出土の庚寅年銘大刀



### I はじめに

元岡古墳群 G 群 6 号墳の発掘調査

### II 元岡 G 6 号墳の概要

(1) 円墳・横穴式石室

(2) 出土遺物

鉄製武器（大刀・鏃・矛）・鉄製工具（鋸・斧・鑿）・鉄製馬具・青銅製鈴・玉類（ガラス・水晶・瑪瑙）・須恵器・土師器

### III 元岡 G 6 号墳の築造年代

7 世紀前半

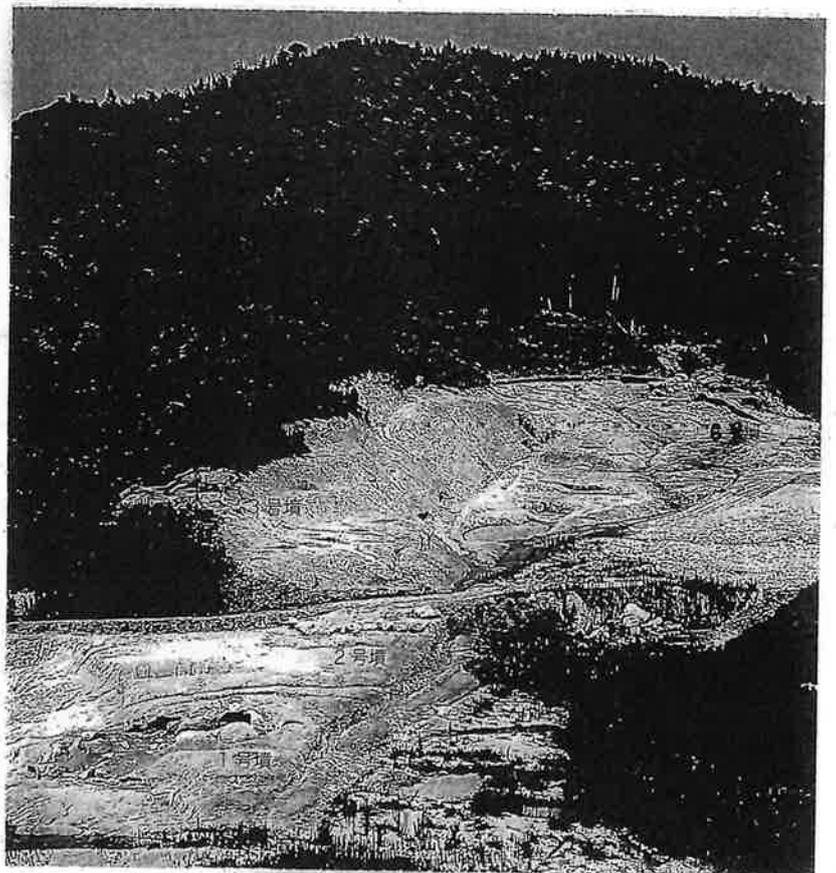
### IV 庚寅年銘大刀

(1) 大刀製作・副葬年代

(2) 製作地

### V おわりに

庚寅年銘大刀の背景



元岡古墳群 G 群全景（南から）

### 【お知らせ】

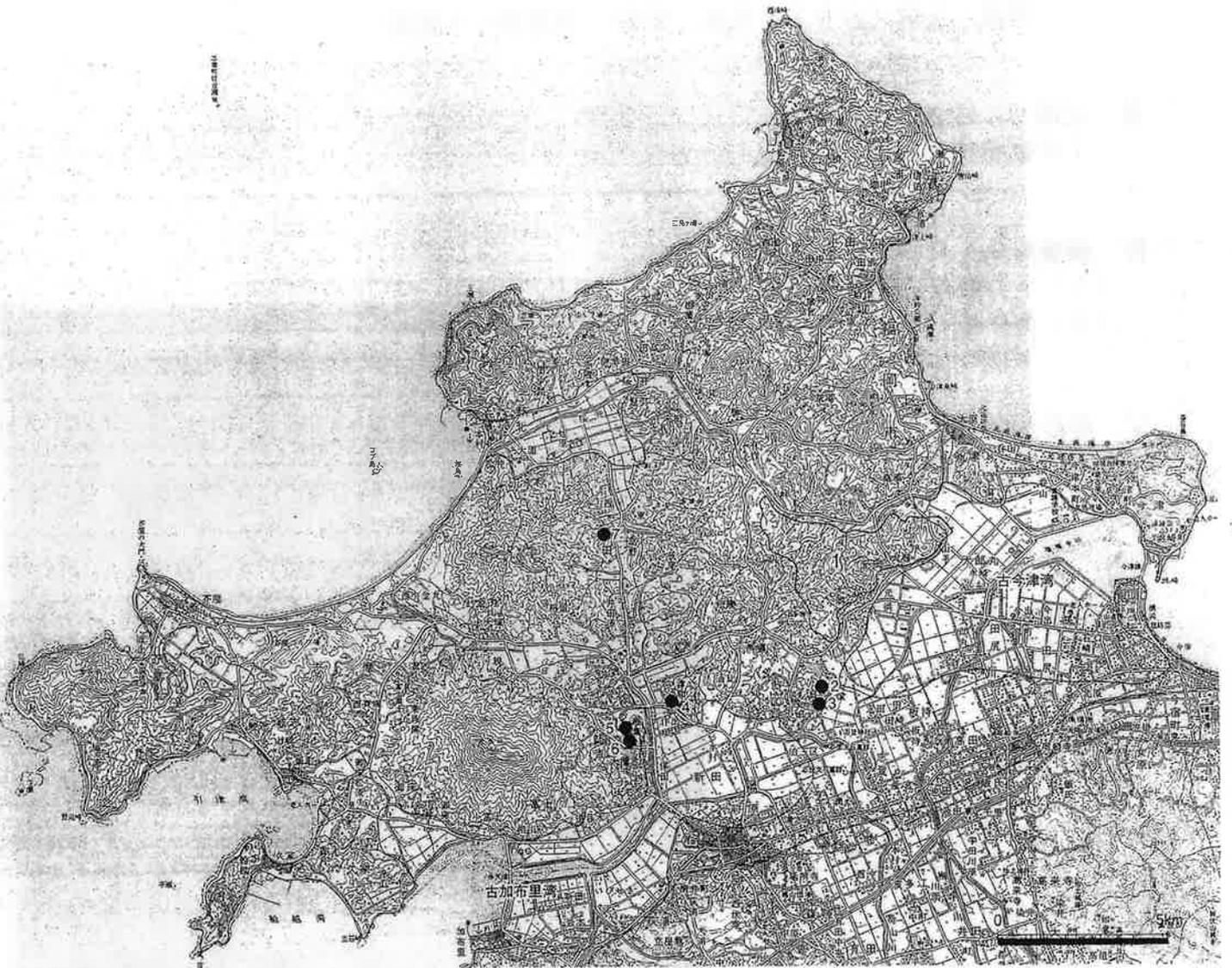
次回の館長講座は12月9日(日)13:30~(2時間程度) 講義室にて開催いたします。

## 元岡・桑原遺跡群の調査経過

九州大学の福岡市西区元岡・桑原地区への統合移転が決定したことを受け、福岡市教育委員会は平成7(1995)年に対象地内の踏査を行い、平成8(1996)年にはこの事業を担当する大規模事業等担当課を設置した。造成予定地の詳細な試掘調査は平成8年3月から同年9月までに実施し、あわせて桑原金屎古墳や元岡石ヶ原古墳などの確認調査を実施した。

移転用地は福岡市土地開発公社が全域を先行取得した後に九州大学が再取得することとなったため、造成工事に伴う発掘調査は福岡市教育委員会と福岡市土地開発公社が受託契約を結び、平成8年から平成20(2008)年まで実施された。しかし、造成工事計画が変更となり、未造成のまま九州大学が再取得した地区についても造成工事に先立つ埋蔵文化財の発掘調査が必要となった。その調査範囲は大規模な面積に及ぶことなどから、福岡市教育委員会が発掘調査を行うことで九州大学と協定書を締結した。平成15(2003)年から九州大学との受託契約による発掘調査を開始し、現在も調査は継続中である。

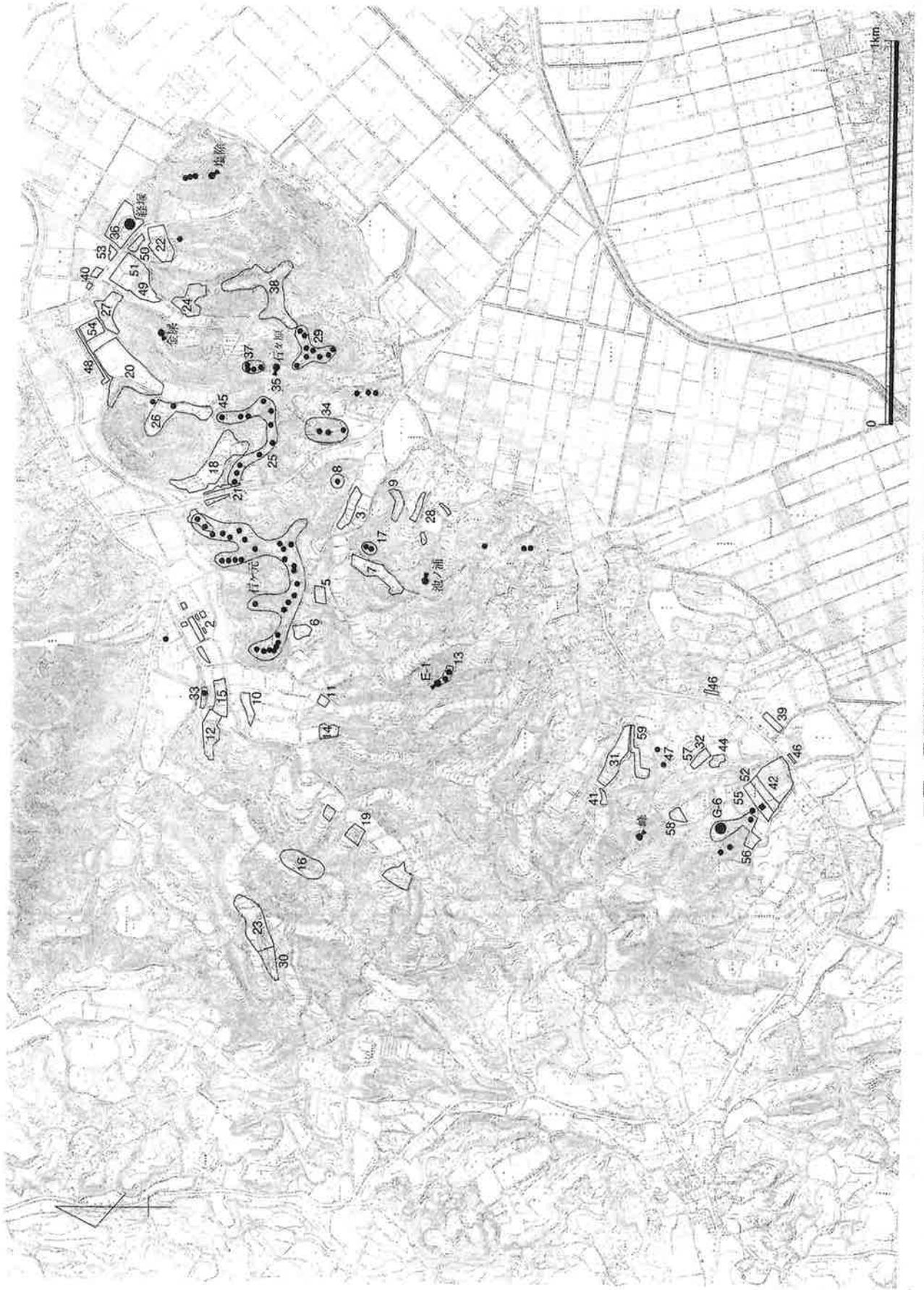
移転用地内の埋蔵文化財包蔵地は、古墳などを除いて「元岡・桑原遺跡群」と総称しており、同遺跡群内では平成24(2012)年度までに59次の調査が実施されている。



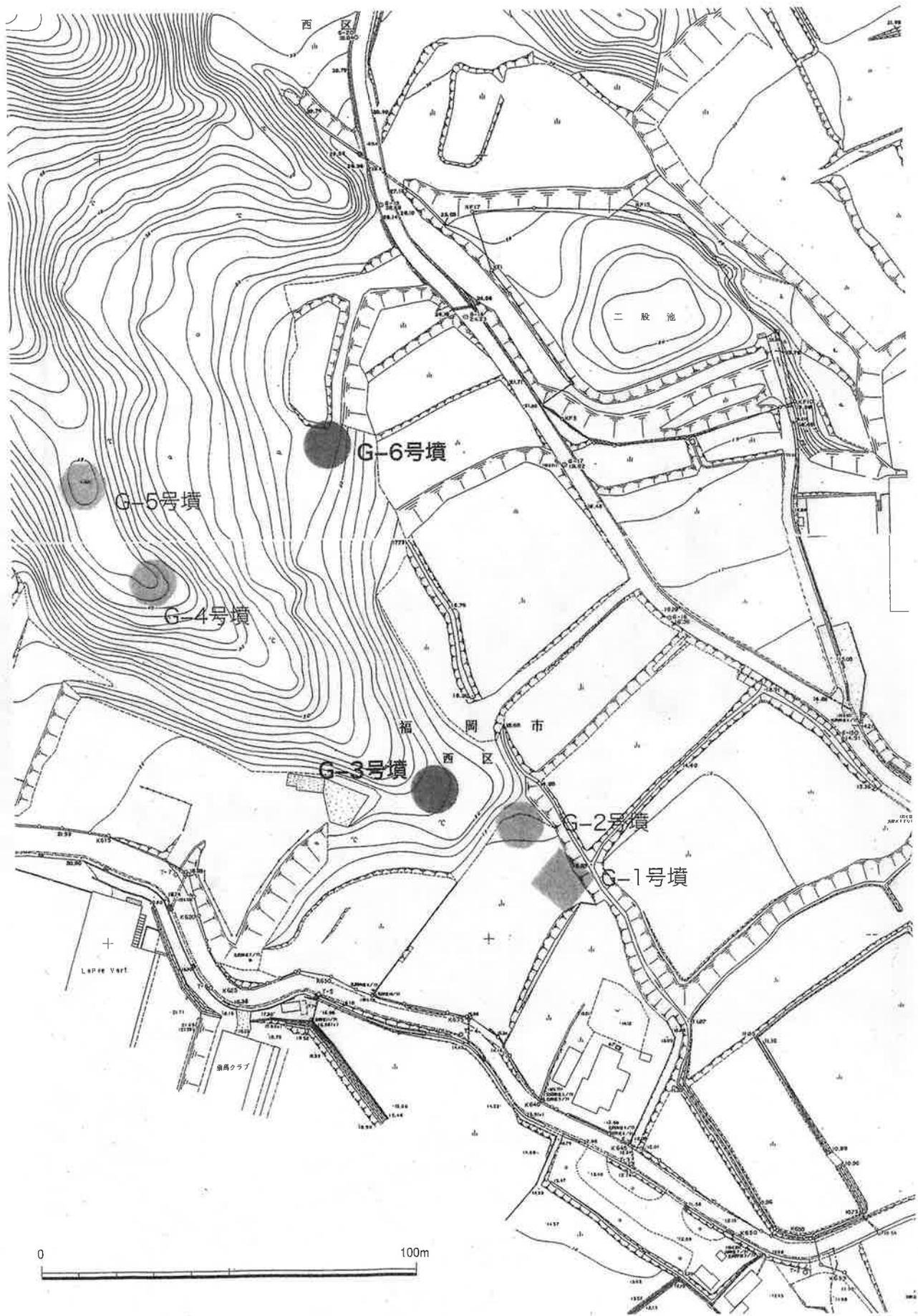
元岡・桑原遺跡群と周辺遺跡 (1/100,000)

- 1 元岡・桑原遺跡群 2 泊大塚古墳 3 御道具山古墳 4 津和崎権現古墳 5 稲葉1号墳 6 稲葉2号墳 7 開1号墳

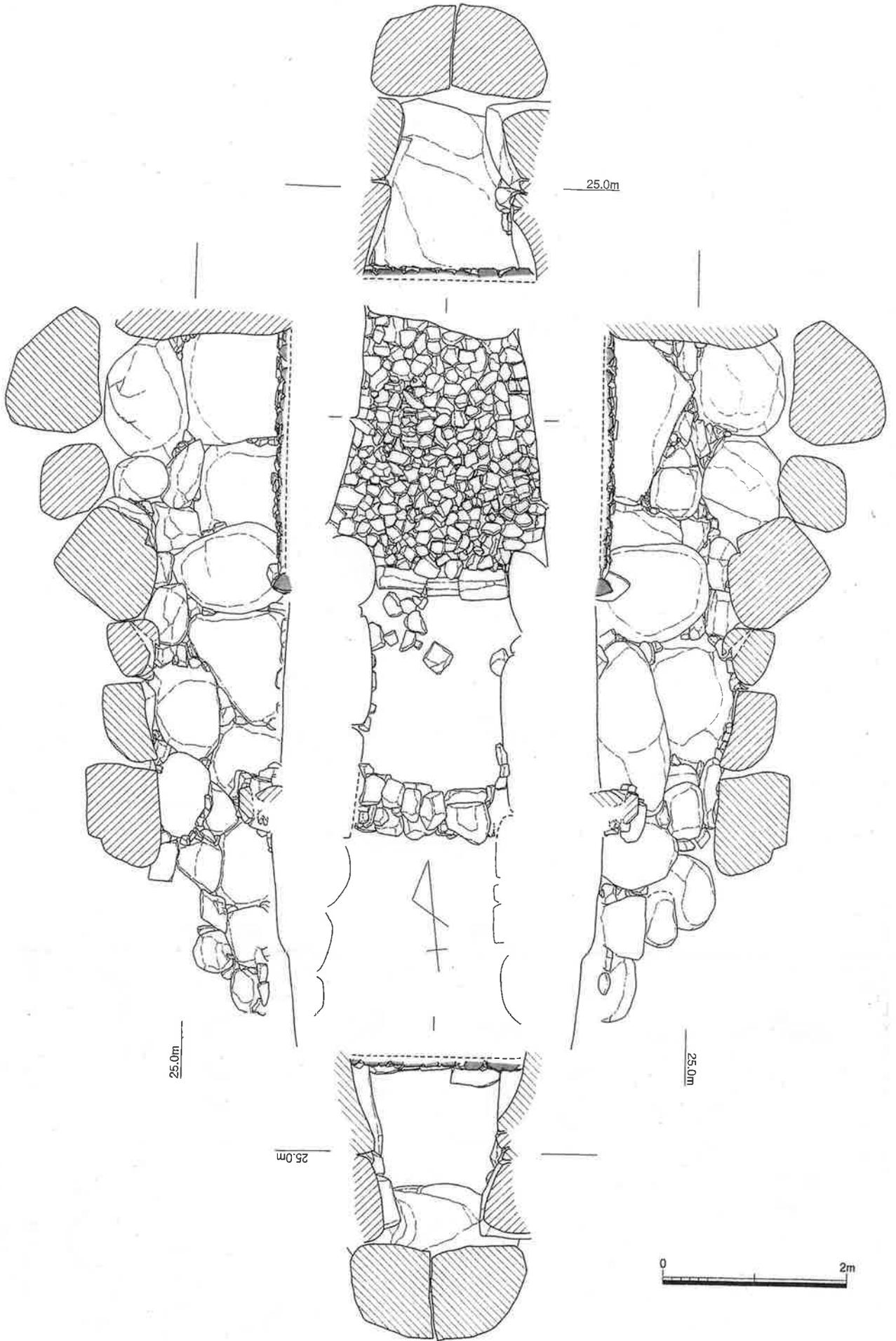
福岡市教育委員会, 2013 『元岡・桑原遺跡群 22-第56次調査の報告 1』  
『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第1210集

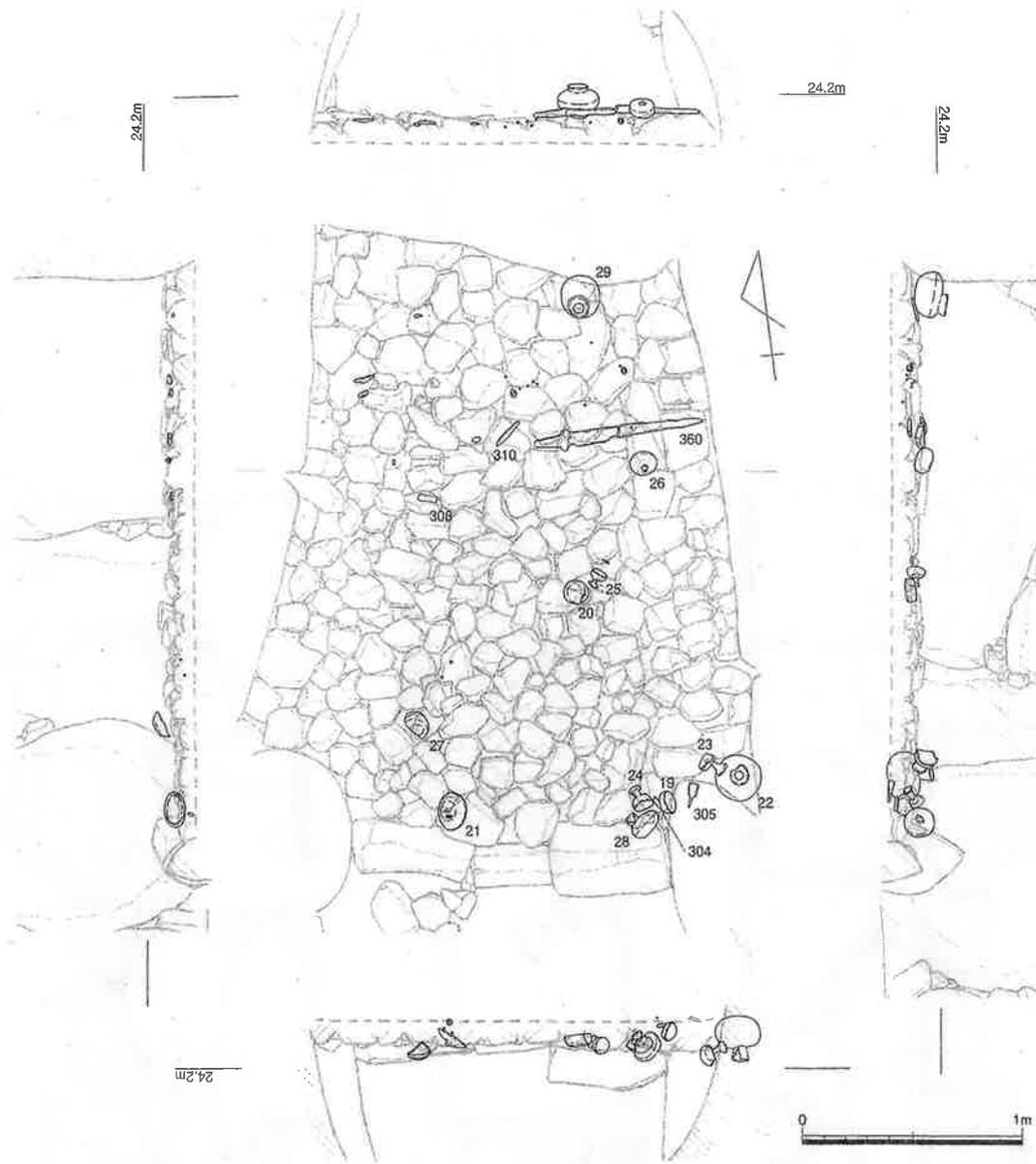


元岡・桑原遺跡群調査位置図 (1/15,000)



元岡古墳群 G 群全体図 (1/1500)

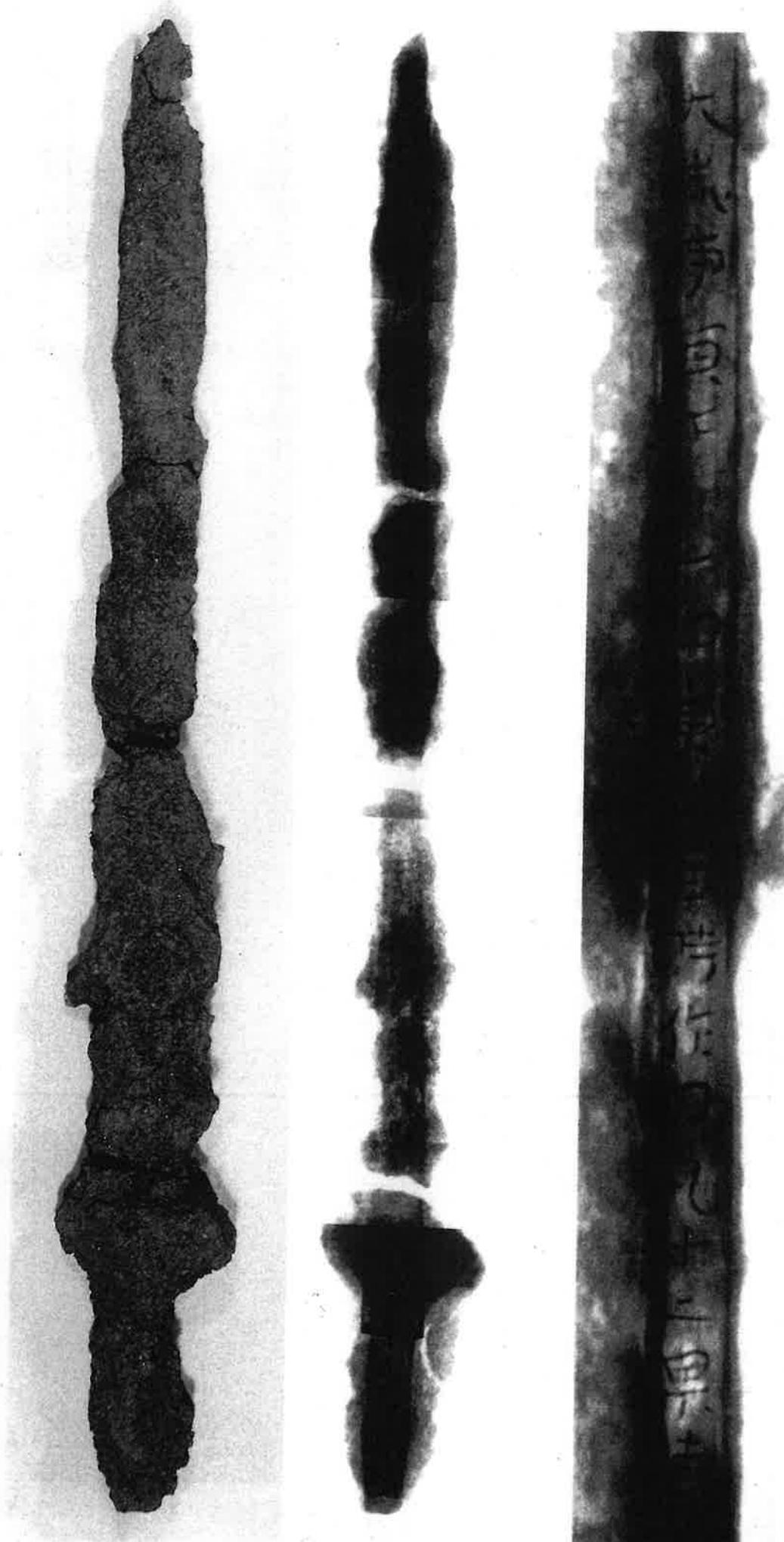




玄室内遺物出土状況図

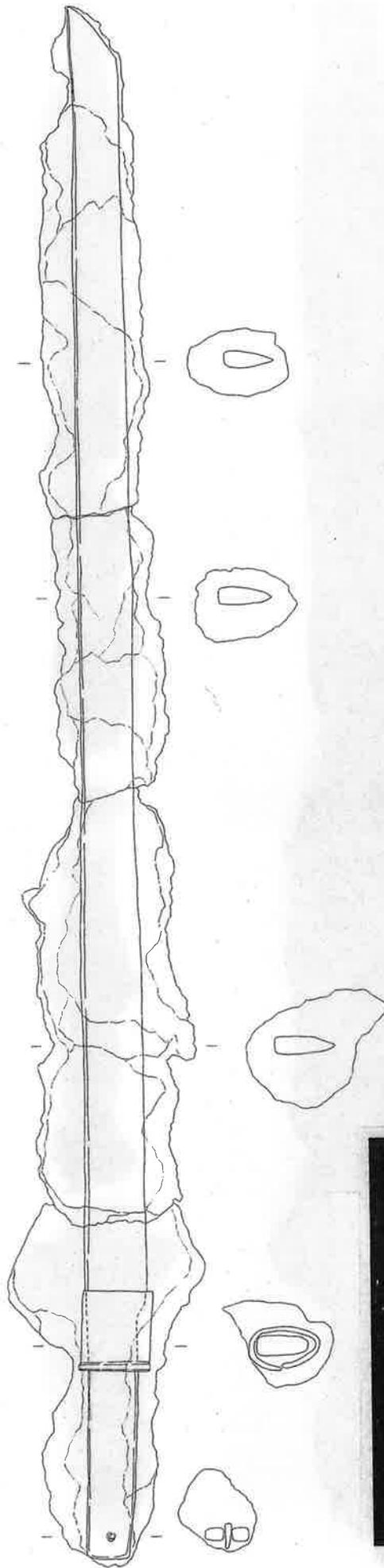
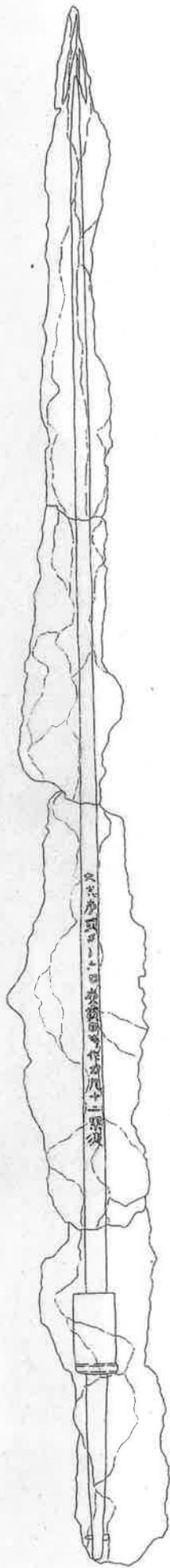
	玄室	羨道	墓道・墳丘	
IVa				難波II新
IVb				
V				難波田中 飛鳥II
VI				

6号墳出土須恵器分類表



「庚寅」銘大刀 出土状態 (左)・X線写真 (中)・銘文部分 (右)

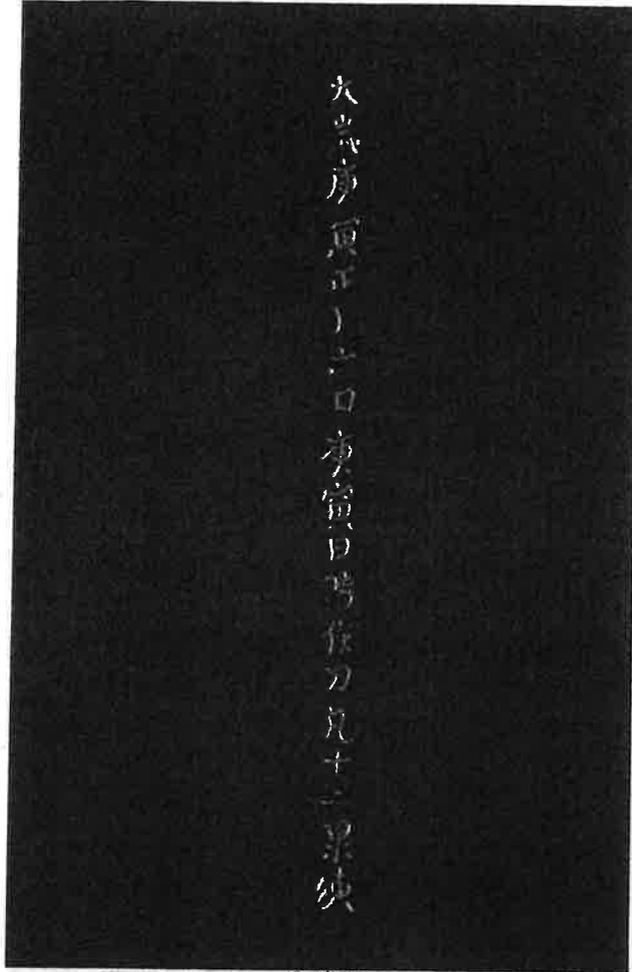
大正陸軍部第一師團康藏回作刀九十二果渡



「康藏」銘大刀実測図



浮かび上がった「作刀」の文字  
(福岡市埋蔵文化財センター提供)



01 全文



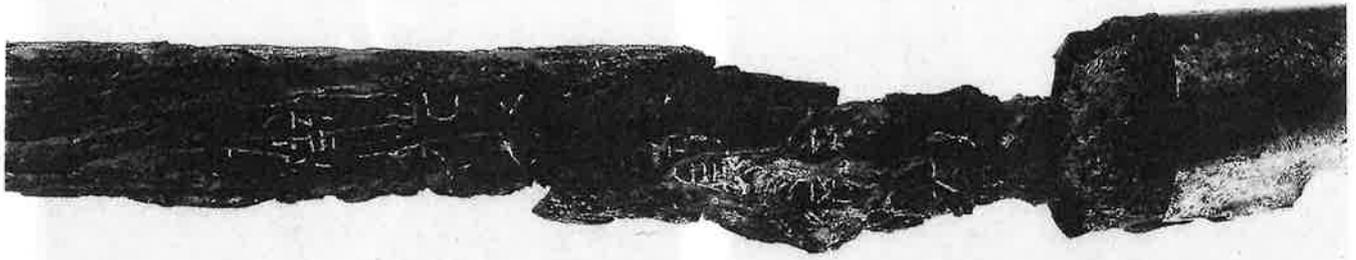
02 大歳庚寅



03 正月六日



04 庚寅日時



圖頭大刀 吳 銘文部

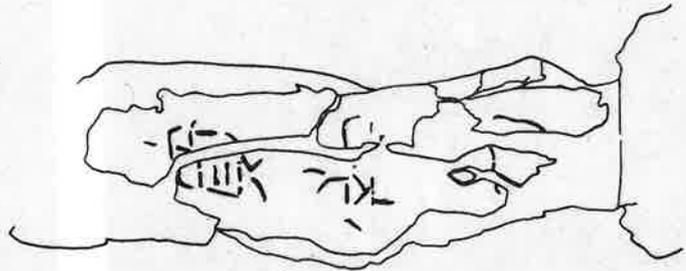


a  
 b  
 c  
 d

e  
 f  
 g



刀面 ②



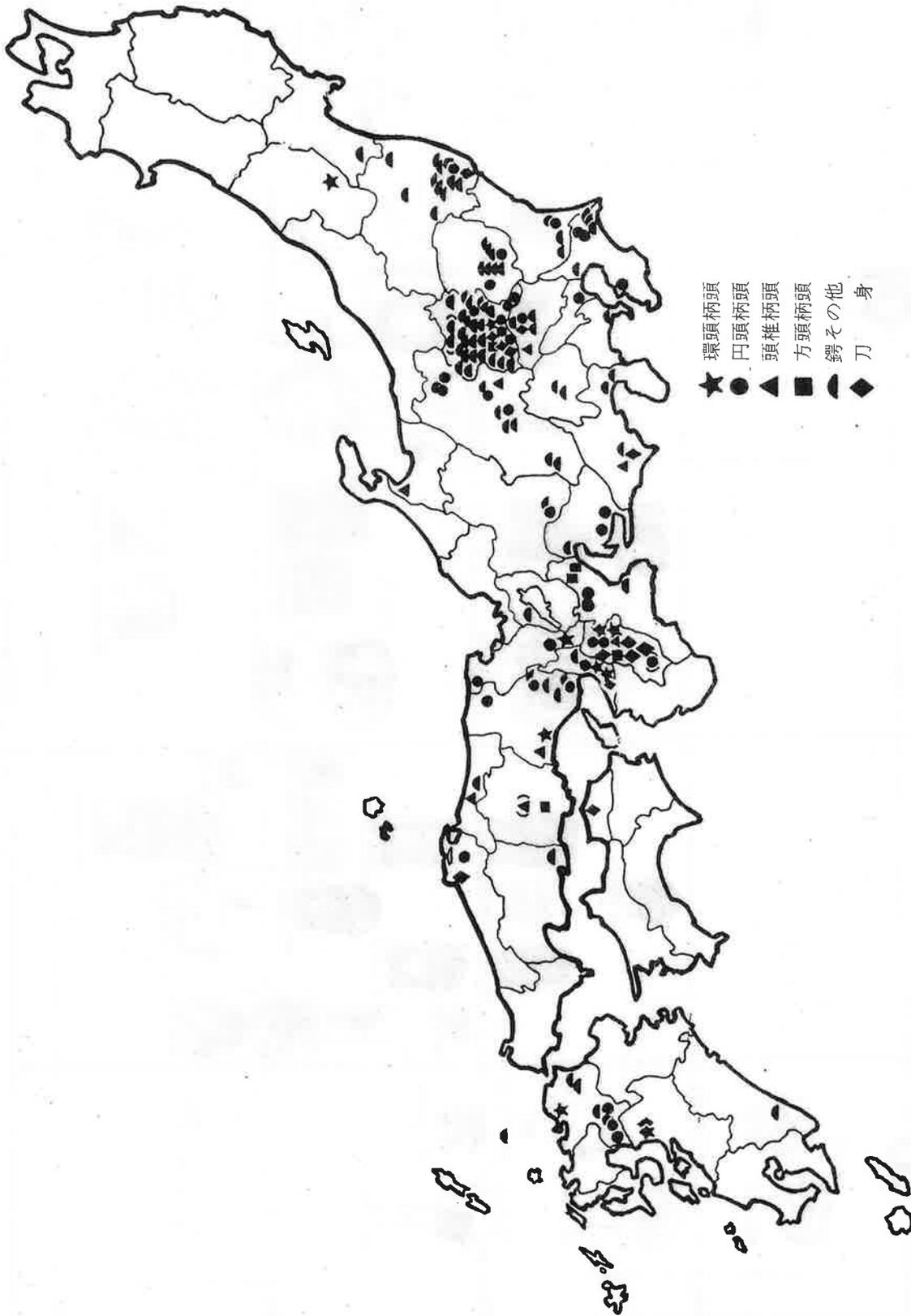
刀面 ①

銘文內容

韓永熙、李相珠、一九九〇「島寧松洞11号墳出土有銘刀頭大刀」考古學誌 第2輯、韓國考古美術研究所

環頭柄頭	円頭柄頭	頭椎柄頭・方頭柄頭	鍔などその他の刀装具	刀身
<p>450</p> <p>山形・宮山 福崎・大戸9号 奈良・根野山A3号</p>	<p>450</p> <p>山形・人之越 大坂・一ツ宮D-12号 大坂・一ツ宮D-8号 群馬・百所山</p>	<p>500</p> <p>奈良・早家2号 長津・藤田字北在 和山 三重・早家 三重・茶山 島根・御田山号 島根・御田山号 佐清良・桜井 岡山・赤山17号 奈良・早家2号</p>	<p>500</p> <p>愛知・木次1号 島根・御田山号 三重・榎山 三重・東野原号 福島・八幡山号 岡山・赤山17号 熊本・下三子山</p>	<p>500</p> <p>熊本・江田翁山 群馬・高崎一郡馬・裏吉山 大坂・塚廻</p>
<p>550</p> <p>山形・人之越 大坂・一ツ宮D-12号 大坂・一ツ宮D-8号 群馬・百所山</p>	<p>550</p> <p>奈良・早家2号 島根・御田山号 島根・御田山号 佐清良・桜井 岡山・赤山17号 奈良・早家2号</p>	<p>550</p> <p>奈良・早家2号 長津・藤田字北在 和山 三重・早家 三重・茶山 島根・御田山号 島根・御田山号 佐清良・桜井 岡山・赤山17号 奈良・早家2号</p>	<p>550</p> <p>愛知・木次1号 島根・御田山号 三重・榎山 三重・東野原号 福島・八幡山号 岡山・赤山17号 熊本・下三子山</p>	<p>550</p> <p>熊本・江田翁山 群馬・高崎一郡馬・裏吉山 大坂・塚廻</p>
<p>600</p> <p>山形・人之越 大坂・一ツ宮D-12号 大坂・一ツ宮D-8号 群馬・百所山</p>	<p>600</p> <p>奈良・早家2号 島根・御田山号 島根・御田山号 佐清良・桜井 岡山・赤山17号 奈良・早家2号</p>	<p>600</p> <p>奈良・早家2号 長津・藤田字北在 和山 三重・早家 三重・茶山 島根・御田山号 島根・御田山号 佐清良・桜井 岡山・赤山17号 奈良・早家2号</p>	<p>600</p> <p>愛知・木次1号 島根・御田山号 三重・榎山 三重・東野原号 福島・八幡山号 岡山・赤山17号 熊本・下三子山</p>	<p>600</p> <p>熊本・江田翁山 群馬・高崎一郡馬・裏吉山 大坂・塚廻</p>
<p>650</p>	<p>650</p>	<p>650</p>	<p>650</p>	<p>650</p>

象嵌刀装具・刀身編年表



象嵌刀装具等分布図

西山要一, 1986 『古墳時代の象嵌刀装具について』 『考古学雑誌』 第72巻第1号

関連年表

- 794年 平安京遷都
- 785年 「延暦四年」銘木簡(第20次調査出土)
- 756年 怡土城築城
- 740年 大宰府少貳藤原広嗣の乱
- 710年 平城京遷都
- 702年 筑前国嶋郡川邊里戸籍作成(正倉院文書、現存最古の戸籍)
- 701年 大宝律令制定、「大宝元年」銘木簡(第20次調査出土)
- 694年 藤原京遷都
- 692年 「壬辰年韓鉄□□」銘木簡(第7次調査出土)
- 689年 飛鳥浄御原令施行
- 672年 壬申の乱
- 665年 大野城、基肄城等を築造
- 664年 水城の築造
- 663年 白村江の戦い
- 660年 百済の滅亡
- 645年 大化の改新
- 630年 大上御田歟を唐に派遣。遣唐使
- 607年 小野妹子を隋に派遣。遣隋使
- 602年 来目皇子、新羅討伐のため、二万五千の軍を率い、嶋郡へ
- 570年 「庚寅」銘大刀(元岡G6号墳出土)
- 553年 百濟より「曆博士」招聘
- 556年 新羅、大伽耶を併合
- 536年 那津官家修造(現 比惠遺跡)
- 527年 磐井の乱

表 古墳時代の銘文刀剣一覧

名称	年代	出土地	全長(cm)	象嵌	文字数	古墳規模	銘文
東大寺山古墳出土金象嵌銘花形飾環頭大刀	184-189	奈良県天理市	110	金象嵌	24	全長140mの前方後円墳	中平□□(年)、五月丙午、造作文刀百練清(劔)、上應星宿、(下辟不祥)
石上神宮伝来七支刀	369or468?	-	84	金象嵌	61		表: 泰和四年五月十六日丙午正陽造百練□七支刀出辟百兵宜供侯王永年大吉祥 裏: 先先世以来未有此刀百濟王世□寄生聖音故為倭王旨造傳示後世
稲荷台1号墳出土「王賜銘」鉄剣	5世紀中頃	千葉県市原市	73	銀象嵌	12	径27mの円墳	表: 王賜□□敬(安) 裏: 此延(刀)□□□
稲荷山古墳出土金錯銘鉄剣	471or531	埼玉県行田市	73.5	金象嵌	115	全長130mの前方後円墳	(表) 辛亥年七月中記、乎獲居臣、上祖名意富比跪、其兒多加利足尼、其兒名豆已加利獲居、其兒名加披次獲居、其兒名多沙鬼獲居、其兒名半豆比(裏)其兒名加差披余、兎名乎獲居臣、世々為杖刀人首奉事来至今、獲加多支齒大王寺、在斯鬼宮時、吾左怡天ド、令作此百練利刀、記吾奉事根原也
江田船山古墳出土銀錯銘大刀	5世紀後半~6世紀初頭	熊本県和水町	90.6	銀象嵌	75	全長62mの前方後円墳	治天下獲□□齒大王世、奉事典曹人名无(利)互、八月中用大鐵釜併四尺延刀、八十練(九)十振、三寸上好(刊)刀、服此刀者長壽子孫洋々、得□恩也、不失其所統、作刀者名伊太(和)、書者張安也
岡田山1号墳出土銀錯銘円頭大刀	6世紀後半	島根県松江市	60	銀象嵌	12	全長24mの前方後円墳	各田了臣(「額田部臣」)
元岡古墳群G-6号墳出土「庚寅」銘大刀	570	福岡県福岡市	75	金象嵌	19	径18mの円墳	大歳庚寅正月六日庚寅日時作刀凡十二果(練)
箕谷2号墳出土戊辰年銘大刀	608?	兵庫県養父市	68.8	銅象嵌	6	東西12m、南北14mの円墳	戊辰年五月(中)

大塚紀宜, 2014 「庚寅」銘大刀と七世紀の北部九州 『西日本文化』 471号

